

参加無料・定員200名

日時

平成30年11月15日(木)  
13:00~16:30 (開場・受付 12:00~)

会場

長野市東部文化ホール  
〒381-0017 長野市小島 804 番地 5

# 立ち直りの現場から。

刑務所などの矯正施設から出所する障がい者や高齢者の中には、適切な支援が得られないばかりに再犯を繰り返し自立更生できない方達があります。出所後に地域で暮らし続けるためには、必要な福祉と確実に繋がること様々な領域の理解と協力、そして福祉関係者と司法関係者の強い連携が不可欠です。本セミナーでは、累犯に陥る障がい者・高齢者の支援をいかに深め推進していくのか、さらには地域の支援力をどのように強化していくのか、事例と共に考えます。

講演  
13:10~

演題 『下関駅放火事件とは何か 一伴走型支援からの考察』

講師 奥田 知志 氏



NPO法人抱樸理事長。北九州市と協働で九州初のホームレス自立支援施設を開設し、自治体などと連携して路上生活者の自立支援に取り組んでいる。ホームレスは「絆を失った人」としてとらえ、データベースを整えた「伴走型支援」で、自立率9割という実績を上げ、「生活困窮者支援の第一人者」として高い評価を受けている。

(休憩)  
14:20~

シンポジウム  
14:30~

テーマ 『累犯障がい者・高齢者の支援を考える』

シンポジスト

- 奥田 知志 氏 (前掲)
- 掛川 敦 氏 (高齢者福祉施設 ベルポートまるこ西 施設長)
- 伊藤 高志 氏 (就労支援施設 長野市ななせ仲まち園 サービス管理責任者)
- 今井 優太 氏 (長野県弁護士会/ながの法律事務所 弁護士)
- 石川 貴浩 (長野県地域生活定着支援センター センター長)

コーディネーター 土屋 ゆかり (長野市社会福祉協議会 まいさば長野市 所長)

主催 ▶ 公益社団法人長野県社会福祉士会・長野県地域生活定着支援センター

後援 (予定) ▶ 長野県/長野保護観察所/長野地方検察庁/長野地方務局/長野県社会福祉協議会/長野県民生委員児童委員協議会連合会/長野県弁護士会/長野県司法書士会/リーガルサポートながの/長野県保護司会連合会/長野県更生保護女性連盟/長野県BBS連盟/長野県保護観察協会/長野県更生保護協力雇用主会連合会/長野県人権擁護委員連合会

問合先 ▶ 長野県地域生活定着支援センター TEL:026-217-0510

申込先 ▶ 裏面の申込書にご記入の上、11月8日(木)までにFAXまたはメールでお申込みください。  
FAX: 026-266-0339 Mail: teichaku-nacsw@iaa.itkeeper.ne.jp

累犯障がい者・高齢者の支援を考えるセミナー